

フクシマガリレイ株式会社

証券コード：6420

FINE!

Fresh Information & Next Efforts

株主・投資家の皆さまへ

第69期期末報告書

2019年4月1日～2020年3月31日

GALILEI

Be cool, Be alive.

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第69期（2020年3月期）の事業活動の概況を、ご報告申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染拡大による影響が世界各地に広がっております。感染症に罹患された皆様、不自由な暮らしを強いられている皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、過去に例を見ない災禍の最前線で、困難に立ち向かっている医療関係者の皆様をはじめ、政府および自治体等の皆様には深く敬意を表し感謝申し上げます。

株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 福島 裕

—今期の業績について—

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しておりましたが、米国をはじめとする各国の通商政策による貿易摩擦や中国経済の減速等の影響をうけ、先行き不透明な状況が続いております。2020年に入ってから、世界的に広がる新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、インバウンド消費並びに国内消費が抑制されるなど、経済活動の減速懸念が強まる状況となりました。

当企業集団を取り巻く環境は、外食産業では、価格改定や期間限定商品の投入により客単価が上昇し、ファーストフードなどの売上は引き続き堅調でしたが、人件費の上昇や食料費の高騰、消費増税の影響に加え、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響により厳しい状況が続いております。また、流通産業では、惣菜や生鮮の堅調な推移と加工食品の値上げ寄与はあったものの、依然として根強い消費者の節約志向の中、深刻な人手不足や物流コストの上昇等による影響で引き続き厳しい経営環境で推移しております。

そのような環境の中、冷凍冷蔵庫販売では、大型機のモデルチェンジを行いラインナップをさらに拡充した製氷機や、加熱調理後の食品をすばやく冷却するブラストチラー、一定時間で品質劣化を抑え衛生的に解凍できる解凍庫の販売が引き続き伸びいたしました。また、冷凍冷蔵ショーケース販売では、スーパーマーケット向けの販売や、海外におけるショーケース販売が堅調に推移いたしました。さらに、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなどのショーケースの保守契約の増加や、消費増税前の駆け込み需要などにより、

サービス販売の売上が増加いたしました。

しかしながら、大型食品加工機械販売や大型・小型パネル冷蔵設備販売の売上高が前年同期に比べ落ち込んだことなど、マイナスの要因もありました。

以上の事から、当連結会計年度の売上高は前年同期比0.3%の増収、営業利益は3.4%の減益、経常利益は2.4%の減益、親会社に帰属する当期純利益は5.9%の減益となりました。

—来期へ向けて—

流通・外食産業では、人手不足による人件費の高騰や消費増税に伴い消費者の節約志向が続く中、新型コロナウイルス感染症による外出自粛や時短営業等の影響により、当企業集団を取り巻く環境は不透明な状況が続くと考えられます。当企業集団は、「人と技術で食の未来を支える」を中期ビジョンとし、社員の人間性、製品・サービス技術力の向上でお客様との信頼関係を構築し、「食といのちの未来を拓く挑戦者」として、広く社会に貢献できる「幸せ創造企業」の実現を目指します。また、統一したグループブランド「ガリレイ」の浸透をはかるとともに、当企業集団の「技術の粋」を集約した新本社のMILABを活用し、互いの専門性を活かしてグループとしての企業価値を最大化し、「オープンイノベーション（社内外を通じた新しい価値の創造）」を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

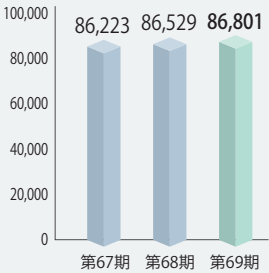
財務ハイライト

第69期連結決算（単位：百万円）

売上高

86,801

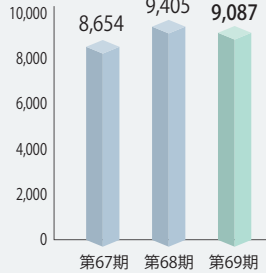
前年同期比 0.3%増



営業利益

9,087

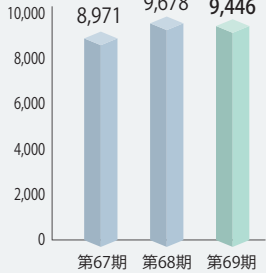
前年同期比 3.4%減



経常利益

9,446

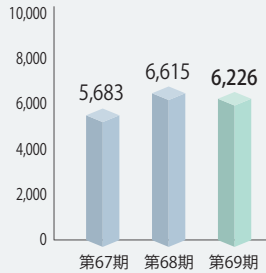
前年同期比 2.4%減



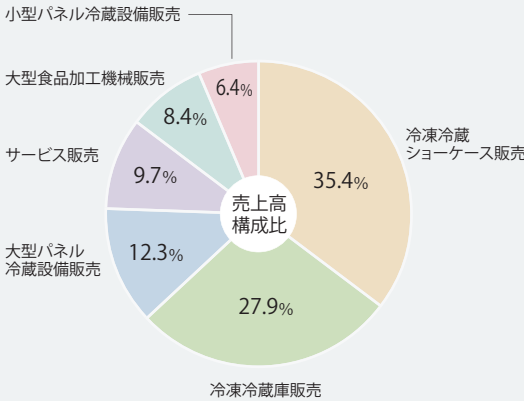
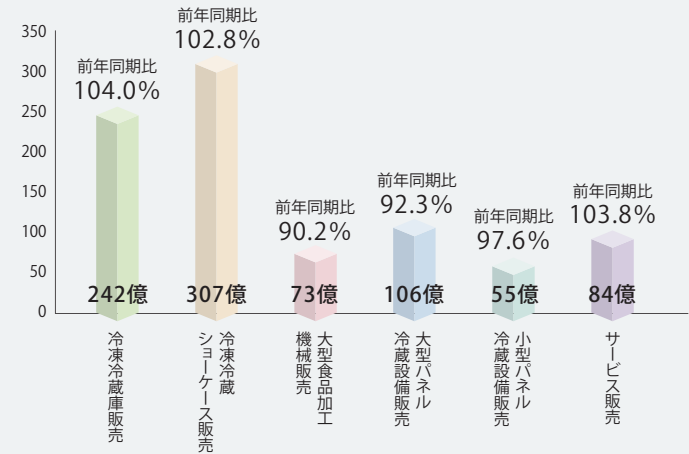
親会社株主に帰属する当期純利益

6,226

前年同期比 5.9%減



事業別売上高



企業理念 環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指します。

第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

SDGsの時代をリードする、 新型業務用冷凍冷蔵庫。

The Galilei

開発コンセプト「Evolved Standard（進化する標準機）」のもと、フルモデルチェンジを行った新シリーズ。
優れた省エネ性をはじめ、美しく使いやすいデザイン、IoT対応など、次世代のスタンダード機として進化。
外食産業、学校・病院、食品工場など、幅広い分野で活躍するとともに、お客様のSDGs活動への取り組みにも大きく貢献します。
また、HACCPの導入をサポートするための通信対応基板を全機種に標準装備。
使いやすさと地球環境への配慮を両立する完成度は、まさに次世代のスタンダードとなっています。



SDGsとは？

「持続可能な開発目標」のことで“Sustainable Development Goals”の略称です。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。



HACCPとは？

国際的に認められた衛生管理の手法のことで、“Hazard Analysis and Critical Control Point”の略称です。原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、製品の安全性を確保するために特に重要な工程を管理し記録することが定められています。2020年6月から食品を扱う全ての事業者に対し、HACCPを用いた衛生管理の制度化が決定しました。



次世代モデルとして、機能性もデザイン性も進化。 お客様の企業活動をよりスムーズに、グローバルに展開させていく。



- 【デザインの進化】
- タテ型・ヨコ型共に、どのような環境にもフィットする直線的でシャープなデザインを採用。
 - 曲げを少なくした機械室/パネルや握りやすく頑丈なハンドル部は、汚れが溜まりにくく清掃しやすい形状。



- 【省エネ性の進化】
- 従来のAシリーズよりもさらなる省エネを実現。タテ型（GRD-122PM）は従来機種に比べて消費電力量23％削減・省エネ基準達成率171%、ヨコ型（LRC-151PM）も消費電力量33％削減・省エネ基準達成率235%。

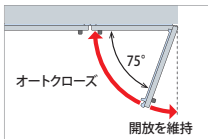


- 【環境保全の進化】
- 冷媒の切り替えを推進し、地球温暖化係数を大幅に低減。
 - 扉ハンドル座の樹脂パーツを廃止することでプラスチック使用量を年間13.3t削減。また、従来通り全機種にてノンフロン断熱材を使用。



- 【鮮度管理の進化】
- 通信対応基板を全機種標準装備。
 - 2020年より制度化されたHACCPにおける温度管理システムの導入にも対応。
- ※システム利用には集中コントローラーや接続工事、接続部品が別途必要です。

- 【使いやすさの進化】
- 扉の閉め忘れをなくす安心のオートクローズ扉に、開放状態を保持するヒンジを新たに採用。
 - 蒸発器を小型化し、庫内上部のデッドスペースをより縮小。



- 【衛生面の進化】
- 扉や機械室/パネルは、汚れが付にくく拭き取り易いクリアコーティング加工を採用。
 - 庫内底や壁面コーナー部をR形状にし、清掃が簡単に。また、扉パッキンの構造を見直し、冷気漏れが少なく衛生的なものに変更。



- 【安全性の進化】
- 全機種に漏電遮断器を標準装備。
 - 单相100V機種は接地形2極用プラグを標準装備し、感電防止などの安全性が向上。



食をより引き立てる、 『聡明』という名の新ステージ。

CLAIR

Send-you

CLAIR (クレア) は、
ラテン語で「聡明」、フランス語で「明るい・澄んだ」という意味。
どの店舗にも溶け込むニュートラルなスタイリングは、
自己主張せず商品を主役として引き立てます。
また、シンプルなディティールで清掃性を高め清潔感あふれるデザインに。
モダンであり機能的。
それが、CLAIR Send-youの目指すカタチです。



CDX-C1ESKM4S

美と機能性を追求することで、
全てのショップのクオリティを高められるようになりました。



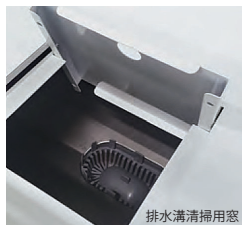
【デザインで引き立てる】

- 表面の段差を最小限に抑えることをコンセプトとしたフラッシュサフェイスデザインを追求。
- 凹凸のない美しい納まりで統一感のある空間を演出し陳列スペースの上下にあしらったアルミ素材による「額縁効果」で主役の商品を引き立てる。



【使いやすさにこだわる】

- 側板の前面の色と外装色を合わせることで、一体感と売場統一感を向上。
- 底板に舟底内の排水溝の清掃用窓を設けることで、清掃性を向上。
- 棚板14%の軽量化と薄棚化を実現し、架台高さ200mm⇒150mmを標準とし庫内有効空間を拡張。従来の手すり高350mmタイプと同等以上の庫内有効空間を手すり高450mmタイプで実現可能。(所要冷凍能力約20%低減可能)
- 棚板に標準で大型プライスカードに対応したPOPレール搭載。



排水溝清掃用窓

【省エネ性を高める】

- 消費電力は従来そのままで照度20%向上した新型LED (クリアLED) 標準搭載。
- 三角構造で棚下の凹凸がなく、調光機能も標準搭載。(一部機種除く。)



「CLAIR」導入事例

CLAIRショーケースをパイロット導入

東京江戸川区にオープンした「ライフ本一色店」様の売場づくりをサポート。



食品スーパー最大手の首都圏への出店。 最新店舗に求められる計算された店舗レイアウト。

2019年7月、「ライフ本一色店」様がオープンするにあたり、最新型ショーケースCLAIR Send-youを始めとする多数のフクシマガリレイ製品を導入いただきました。住宅街に立地した店舗で、1階が駐車場とテナント、2階がメイン売り場となるいわゆるピロティタイプ。売り場面積は1235㎡とライフ様としては標準的な店舗の位置付けとなります。しかし、大手スーパーの「標準」とは考え抜かれ、改善し尽くされたノウハウの集大成。さらに、首都圏とはいえ、付近には依然畑も多く、今後も人口増が見込める地域。既存の競合店に割って入る必要もあり、店作りには隅々まで高いクオリティが求められていました。

最新のCLAIRショーケースをはじめ、 合計120台以上の製品を導入。

周辺住民は単身・2人世帯が全体の7割近くを占めていますが、今後の家族世帯の増加も予想される地域。少人数世帯向けの少量目から、ファミリー向けの大量目まで万遍なくカバーしなければなりません。さらに、近年需要が増している冷凍商品やオールインワンミールキットなど、保存・調理に便利な製品も大きく取り上げる必要があります。そこで活躍したのが、今回導入したCLAIRショーケース。棚の見直しにより庫内有効空間がアップした新モデルは、課題であった商品陳列の効率化に大きく貢献しました。



ライフ本一色店 所在地:東京都江戸川区本一色1-26-4

case study 1

医薬品卸業界大手、 東邦ホールディングス様の新・物流拠点 「東邦薬品株式会社TBCダイナベース」のオープンをサポート。

「セブンナイン」と言われる、99.99999%の出荷精度と、東日本大震災でも止まらずに出荷を続けた安定供給が売りの同社。

デリケートな医薬品を、大規模災害時にも機能する頑強さで保管するため、

フクシマガリレイのエンジニアリング事業部が総力を結集しました。



東邦薬品株式会社TBCダイナベース
面積:5万766平方メートル
(「ダイナベース」の2階から5階)

同社は医薬品を取扱っているため、物流においては最先端技術を導入することで正確性 (Accuracy)、ロット管理 (Traceability)、継続性 (BusinessContinuity Planning) 等を追求してきました。今回、東京都が指定する災害時の広域輸送基地「京浜トラックターミナル」内に総合物流センターを新築。医薬品を安定供給できる安心・安全の流通体制を一層強化しました。基幹的広域防災拠点近郊に高機能な大型備蓄センターを持つことは、最も災害リスクの高い首都圏での効果的な被災時医薬品供給が期待できます。

温度管理が必要な医薬品のため、ダイナベース3階の一角に約2700㎡の冷蔵設備エリアが配置されています。施工・運営上、特に注意しなければならないのが結露。他の在庫品や階下の別テナント様に影響が出ないよう同エリア内で対策を完結させる必要がありました。今回の事例では、天井に設置した除湿機と送風ファンで除湿した空気を、張り巡らせたダクトとシロッコファンにて床下へと循環させ解決。さらに、災害時などの万が一に備え、複数系統の冷却設備機器を配置。停電時には72時間稼働できる発電機設備も有しています。また、省人化された物流システムと連動するよう防熱扉を設置するなど、高い出荷精度を妨げることもないよう工夫した設計を実現しています。



case study 2

社会福祉法人 若竹大寿会様の 「介護老人福祉施設 わかたけ南」の オープンをサポート。

「食」をいつまでも楽しんでもらいたいという理念を持つ介護老人福祉施設。

フクシマガリレイの機能的な厨房機器とHACCP導入をサポートするシステムで、

利用者がいつでも安心して味わいを楽しめるように、最大限の安全を実現しました。

2020年4月、「介護老人福祉施設 わかたけ南」が開所。運営元の若竹大寿会は横浜市の民間社会福祉法人で最も多種類の介護保険サービスを提供しており、29施設を運営しています。同法人のテーマは「職員ファースト」。現場の方がいきいきと働く施設づくりのために、厨房設備を任せしたのはフクシマガリレイでした。温度管理対応の調理機器や検収・保管設備はHACCP Extenderとあわせて使用することで、HACCPの記録にかかる職員の手間を大幅に軽減。ROフィルター (逆浸透膜) を備えた浄水器は、水道水からカルキや細菌・ウイルス・発ガン性物質などの不純物のほとんどを取り除き、安心して使用できるように。また、「電解次亜水生成



介護老人福祉施設 わかたけ南
所在地:横浜市南区山谷115-5
床数:160床



装置・FEクリーン水」も導入しており、次亜塩素酸ナトリウム水と同等の効果。「水」と「塩」だけで生成。人体にやさしい消毒液を簡単に使うことができ、食材の洗浄やキッチンの消毒を常に徹底できます。大人数への配膳が可能なユニットワゴンは、省力化はもとより、利用者様にいつまでも安心して食事を楽しんでほしいという想いを適時適温でサポートします。



■ 株式会社トライアルカンパニーとの共同事業

【AI技術を活用したPMV制御による快適省エネ店舗の実現】が 2019年度省エネ大賞省エネ事例部門 経済産業大臣賞を受賞。

全国で246店のスーパー店舗を経営するトライアル様とフクシマガリレイが共同で、店舗の快適性と省エネ推進という相反する課題に挑戦し、効果を上げた取り組みが受賞しました。生鮮食品、冷凍食品売り場において抱える冷凍冷蔵ショーケースが消費する多大なエネルギーとお客さんが感じる寒さを同時に解消することを目指したのが評価のポイントでした。



■ 大阪府より「子ども食堂」への 冷蔵庫寄贈に対して表彰されました。

社会貢献活動の一環として大阪府内の子ども食堂に業務用冷凍冷蔵庫を50台寄贈し、児童福祉の増進に寄与した功績により吉村大阪府知事から感謝状を贈呈されました。これからもガリレイグループは社会貢献活動を推進していきます。



【子ども食堂とは】地域の親の帰宅が遅い家庭や貧困家庭の子どもたちに、無料または低額で温かい食事と居場所を提供する社会活動。2019年の調査では全国の子どもの食堂は3,700か所を超えており、大阪府は全国2位の数になっています。

■ 第54回スーパーマーケットトレードショー2020に出展。

2020年2月12日(水)～14日(金) 幕張メッセ

スーパーマーケットを中心とする食品流通業界に最新情報を発信する商談展示会に出展。今年は新デザインショーケース CLAIR Send-you、バックヤード断熱パネル化提案、未来型店舗の提案、SDGs対応など様々な提案を実施しました。



■ 2020年2月8日(土)、大阪府立国際会議場にて ガリレイグループ社員大会開催。

例年実施しておりますグループ会社合同でのガリレイグループ社員大会を開催。グループ社員一堂に会しガリレイグループの経営理念・経営方針を共有しました。



■ 厨房設備機器展2020に出展。

2020年2月18日(火)～21日(金) 幕張メッセ

新型冷凍冷蔵庫The Galileiシリーズを中心に、新型ドウコンディショナー、キャッシュレス・軽減税率提案、HACCP衛生管理、解凍提案など様々な内容を展示いたしました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日現在)	当連結会計年度 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	60,422	58,978
固定資産	26,200	29,339
有形固定資産	14,899	18,461
無形固定資産	421	416
投資その他の資産	10,879	10,461
資産合計	86,622	88,318
負債の部		
流動負債	31,088	28,489
固定負債	1,646	1,717
負債合計	32,735	30,206
純資産の部		
株主資本	49,771	55,035
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	3,168	3,168
利益剰余金	47,057	52,321
自己株式	△3,214	△3,214
その他の包括利益累計額	4,059	3,020
その他有価証券評価差額金	4,058	3,076
為替換算調整勘定	65	122
退職給付に係る調整累計額	△64	△177
非支配株主持分	56	54
純資産合計	53,887	58,111
負債純資産合計	86,622	88,318

Point.1

現金及び預金が減少したことによる流動資産の14億4千4百万円減少と、有形固定資産の建物及び建築物が増加したことによる固定資産の31億3千9百万円増加により、資産合計16億9千6百万円の増加となりました。

Point.2

ラインナップをさらに拡充した製氷機やプラスチック、解凍庫の販売が好調に売上を伸ばしたことや、スーパーマーケット向けショーケースの販売や保守契約の増加などにより、昨年同時期に比べ2億7千2百万円の増加となりました。

Point.3

税金等調整前当期純利益を91億8千3百万円計上し、投資活動や財務活動に74億8千4百万円使用した結果、前連結会計年度末に比べ24億9百万円減少し、312億5千9百万円となりました。

連結損益計算書 (単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	86,529	86,801
売上原価	63,765	63,985
売上総利益	22,763	22,816
販売費及び一般管理費	13,358	13,728
営業利益	9,405	9,087
営業外収益	447	582
営業外費用	174	224
経常利益	9,678	9,446
税金等調整前当期純利益	9,718	9,183
法人税、住民税及び事業税	3,252	3,063
法人税等調整額	△161	△93
法人税等合計	3,091	2,969
非支配株主に帰属する当期純利益又は純損失(△)	11	△12
親会社株主に帰属する当期純利益	6,615	6,226

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	6,564	5,162
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,229	△6,466
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,298	△1,017
現金及び 現金同等物に係る換算差額	150	△88
現金及び 現金同等物の増減額	2,187	△2,409
現金及び 現金同等物の期首残高	31,481	33,669
現金及び 現金同等物の期末残高	33,669	31,259

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Information

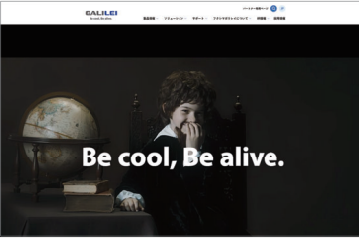
会社概要	
商号	フクシマガリレイ株式会社
本社	〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島2丁目6-18
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結：2,127名 単体：1,550名（準社員除く） 2020年3月現在

事業所一覧	
主要拠点	本社・関西支店（大阪）、東日本支社（東京浅草橋・東京日本橋） 中部支社（名古屋）、西日本支社（福岡）
支店 営業所 サービスステーション	北海道（札幌）、函館、旭川、帯広、釧路、北東北（盛岡）、青森、 秋田、水沢、南東北（仙台）、山形、郡山、信越（新潟）、長野、 松本、さいたま、北関東（宇都宮）、高崎、水戸、つくば、千葉、 柏、横浜、西東京、甲府、静岡、浜松、沼津、豊橋、岐阜、三重、 北陸（富山）、金沢、福井、京都、滋賀、福知山、南大阪、奈良、 和歌山、神戸、西宮、姫路、岡山、岡山工場、鳥取、広島、 松江、福山、山口、四国（高松）、徳島、松山、高知、北九州、 久留米、佐賀、東九州（大分）、宮崎、延岡、都城、西南九州 （熊本）、長崎、佐世保、鹿児島、沖縄、石垣、宮古島
サービスセンター	関東（西船橋）、関西（大阪）
工場	滋賀（水口）、岡山

グループ会社一覧	
タカハシガリレイ株式会社、ガリレイパネルクリエイト株式会社、 ショウケンガリレイ株式会社、フクシマトレーディング株式会社 北京二商福島機電有限公司、ガリレイ（タイランド）株式会社 福島国際（香港）有限公司、台湾福島国際股分有限公司 フクシマガリレイシンガポール株式会社、福久島貿易（上海）有限公司 フクシマガリレイマレーシア株式会社、フクシマガリレイタイランド株式会社 福島国際ベトナム有限会社、福島国際インドネシア株式会社 福島国際フィリピン株式会社、福島国際（カンボジア）株式会社 フクシマガリレイミャンマー株式会社	

役員			
代表取締役社長	福島 裕	取締役	水谷 浩三
取締役副社長	福島 亮	取締役	日野 達雄
専務取締役	福島 豪	社外取締役	田中 浩子
常務取締役	片山 充	社外取締役（常勤監査等委員）	竹内 博史
常務取締役	長尾 健二	社外取締役（監査等委員）	藤川 隆夫
		社外取締役（監査等委員）	吉年 慶一

株式のご案内	
決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ https://www.galilei.co.jp/ir/advertise.html に掲載いたします。
株主名簿管理人 および 特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理 事務取扱場所 （郵便物送付先）	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	0120-782-031 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）



最新情報、サポート情報、デジタルカタログ等、様々なコンテンツが充実。
フクシマガリレイのホームページを、ぜひご覧ください！
<https://www.galilei.co.jp/>

